

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所5号機の使用済ハフニウム棒型制御棒の
外観点検結果について

平成24年9月7日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所5号機において、今定期検査中に点検を予定していた使用済ハフニウム棒型制御棒^{*1}2本の外観点検（平成24年8月23日にお知らせ済）について、本年9月6日に実施いたしましたので、点検結果についてお知らせいたします。

点検の結果、いずれの制御棒についても、タイロッド^{*2}部やシース^{*3}部のひびは確認されませんでした。

なお、従来から制御棒の使用に伴って発生することが知られているハンドルのガイドローラ部でひびが確認されましたが、制御棒の健全性に影響を与えるものではありません（従来^{*4}の知見）。

以上

*** 1 ハフニウム棒型制御棒**

高い中性子吸収能力を有するハフニウムを、棒状に成形して中性子吸収材として使用した制御棒。

*** 2 タイロッド**

制御棒の構造部材の一つで、ハフニウムを包んでいる金属板（シース）やハンドルを接続しているもの。

*** 3 シース**

制御棒の構造部材の一つで、ハフニウムを包んでいるステンレスの金属板。

*** 4 従来^{*4}の知見**

ハンドルとシースの溶接部やハンドルのガイドローラ部のひびについては、制御棒を経年的に使用することに伴い発生することが広く知られている。

当社の原子力発電所も含めて過去に多くの確認例があり、いずれも制御棒の健全性に影響を与えるものではないと評価されている。